

会報第27号 (2017年7月)



自主

シルバーを私たちの物として考えます

共働

私たち会員は仲良く働きます

自立

シルバーを私たちの力で育てます

共助

私たち会員は互いに助け合います



公益 上里町シルバー人材センター 社団法人

TEL • FAX 0495-33-4231

会員入退会

平成29年6月30日現在 平成29年4月1日より増減

男性133人4人減女性65人1人減合計198人5人減

成 九 度定期総会に つ 7

はじ 町 に 齢 セ 開 男 め ター 催 女 11 関 されました。 きい 共 根の 団 同 き課 町 H 定 法 参 長、 期総 人画 $\widehat{\pm}$ 長 上 会が多くの会員を一里町シルバー人材 (T) 進 谷議会議 の来賓を迎え盛会谷議会議長及び高 セ 前 + ルタ 時 ĺ カン に 5 おい 上

 \bigcirc に二 七〇 昭 和花 一十周年記念式典、この時の会員は二十周年記念式典、この時の会員は二十二年に発足し、平成十九年度記形理事長は、「高齢者事業団は、 人となってい 人、平成二十九年度の 、ます。 会員は二

現在 五〇 協会も今年度で三十周年を迎え、六月 ま わ 十二月 催 れ 玉 Ō 7 されます。 では一億円余りで推移し \mathcal{O} 全国シルバー 緊急 いたときには、経常収益 12 万円のときもありまし 中野 雇 用 サンプラザで式 \mathcal{O} 失業 人材センター事業 対 策 事 7 <u>が</u> 一 業 たが、 典が おり が 行 億

くな 五. 歳までとなり、会員 近 で 状況となっ (材センター は、定年 会員の一ケ月の平 退 職 います。・・・の加入し が 後 \mathcal{O} れることが 再 均 雇 軍町シス率が良る方 \mathcal{O} 配分

> 拶をされ + 六万八千 ま 番目となってい らした。 円 と県内一 ・ます。 目 全 玉

っております。町にや雇用問題など、厳 りを 十二五十 現在は、少子高齢化が進み人口をいただき、厚くお礼を申し上げ 上 役員と会員の皆! 一の高 関 应 は %を超える数字となって 用問題など、厳しい社会情 根 齢 町 八%で外の郡内 長は、 者は七千七百 めとして町の の郡内の町では、二七百人、高齢化率はにおける六十五歳以厳しい社会情勢とな は、 を と と を を を を 行事にご支援 の町では、高齢化率 あかり お りま います。 減 ま 心 少 つに

上の 期高 とが予想されております。 平 高 成 齢 登齢者は 三十七 者がピー 年の 九 ークとなっ 千 一四百 七 + り、 人 五. 、六十五歳以土歳以上の後 を 超えるこ

する組織と定義されてい

、ます。

供 護 \mathcal{O} ŧ 役割 保 す 働 るというシルバー人はく意欲のある高齢者 険 は \mathcal{O} 健 削 康増進に繋がり医療費、 減等に 大 者に に 貢献 材 センタ 仕 して 事 を 提 お介

二月 が 事業において 上里ス 用開始となり、 サ 7 ĺ Ì ピ 1 ス インター 平成二 エ 町 IJ \mathcal{O} 発展が Ź 周 チェンー七年十 強期待

ジ

定で工 が 公 直 7 事が 売 り 所 始まっております。 事業では、 を 内に オー 玉ひ り び す きの 側 \mathcal{O}

は元 ただきました。 ております。」とのご来賓の挨拶を 康 納 夏 谷議 本番を迎え暑い日が続きます 気にご活躍 にご留 会議長は、 意 いただき会員の皆様に いただくことを 日 頃 Ĵ Sy, 願 花 が 形 0

いただいております。の皆様には、町や地域の仕事にご活躍理事長を始めシルバー人材センター 者が働くことを通じて生きが ると共に、 シルバー人材センタ 地域社会の Ì 活性: とは、 1 高 に . 貢 献 得 年

となり、 ます。 き上げに ましたが の会員が 花 形 理事長の挨拶の シルバー人 より六十五歳までの 百七十人であ 減少に 玉 [の働き方改革で定年の なって、 材 センターの 中では、 いると思 ったと話 再 十年 雇 「され 引 用

高 齢 \mathcal{O} ま ため六十歳から六十四 者 \mathcal{O} 人口 就 業促 減 小 進や会員 0 なか で \mathcal{O} 成 歳 増 長 ま 強 力 で に \mathcal{O} 向 \mathcal{O} 確

とのご来賓の挨拶をいただきました。ましてお祝いの言葉といたします。」一がますます発展し、会員の皆様がごーがますます発展し、会員の皆様がごおります。











平成29年度 公益社団法人 上里町シルバー人材センター事業計画書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

平成24年4月1日から公益社団法人としてスタートしまして、6年目にはいります。シルバー人材センター事業を取り巻く社会経済環境は、厳しい状況が続いておりましたが、平成27年度には契約額、会員数等が増えまして回復の兆候が見られておりました。しかしながら、平成28年度では契約額は増額になりましたが、会員数は減少となってしまいました。

本年度は契約額について、この状況を堅持することはもとより、更なる増額を目指し、会員数については減少をくい止め増員を図ります。

また、補助金については平成27年度より増額になっております

当センターでは、適正な事業運営を確実に進めるために、作業に係る指揮・命令を 受けている就業先がないか検証するとともに、労働者派遣事業にも積極的に取り組ん でまいります。

1 基本方針

- 1) 会員の増強とシルバーの理念の浸透を図る
- 2) 会員に適した就業機会の確保・提供を推進する
- 3) 会員に必要な知識、技術、技能の向上を図る
- 4) 会員の安全就業の徹底・強化を図る
- 5) 組織の活性化と運営体制・財政基盤の強化を図る

2 重点目標

- 1) 安全就業の確立
- 2) 就業の拡大(特に女性就業拡大)
- 3) 会員の拡大
- 4)派遣事業の拡大
- 5) 魅力あるセンターの構築
- 6) 財政基盤の強化
- 7) 組織体制の確立
- 8) 研修の充実
- 9) 広報活動の充実
- 3 当センターの現状と課題

会員数の減少傾向が続いておりましたが、平成27年度は久しぶりに増加になりましたが、昨年度はふたたび減少となってしまいました。高齢を理由に就業先から仕事を断られたり、作業意欲はあっても体力がついて行かない方が多くなるなどが当面の課題となっております。

また、厚生労働省職業安定局より、事業においては発注者よりの指揮命令を受ける作業や他の従業員と混同する作業をしてはならないと厳しい指摘を受けております。 上記事項を解消するには派遣事業への取組が必要となります。ただし、事務費等が請 負や委託事業よりかなり高く、相手先の理解を得るのは難しい面もありますが就業先 の拡大確保に努めてまいります。

4 会員数について

平成28年度は30名入会されましたが、高齢等の理由で退会者が41名で減少となりました。

定年後に5年間の再雇用が企業に定着しつつあり、会員申込者が65歳以上の方が多くなることが考えられ、今後の就業に対しての課題として検討していく必要があります。

5 センターの運営について

これから公益社団法人として、より一層の健全性及び透明度を担保する事が求められることになります。

当センターの運営基盤は、ご支援をいただいている上里町、埼玉県、国の補助金にたよっているところが大きいですが、今後当センターの運営には、今まで以上に独立した法人として確かな自助努力が求められることになります。役職員並びに会員が一丸となって地域社会への貢献を指向し、魅力あるセンターの推進を目指します。

6 就業開拓提供事業

公共団体、企業、家庭等に対して、就業機会の開拓を積極的に展開し、会員の希望、 知識及び経験に応じた就業と社会奉仕活動の機会の確保に努めます。

受託事業ついては、高齢者の特性である丁寧で良い仕事をすることと、いずれの就業先でも、就業の基本となる「挨拶」「就業態度」等などの基本的な事項について質の向上を目指します。一方で、広報委員会を中心に、当センター事業と同種の一般企業の事業との違いを明確にし、的を絞った宣伝・訪問活動で地域社会の理解と協力を得ながら就業機会の拡大に向けて取組みます。

また国庫補助の高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を前年度より取り組んでおります。内容は女性の社会進出の後押し、現役世代の雇用環境の向上のため、育児分野、人手不足分野等の就業機会の開拓・マッチングを図り、女性の活躍の下支えを行

うとともに高齢者の活躍を推進するための取り組みを実施するものであります。

また、町が取り組んでいる介護予防・日常生活支援総合事業の中での、介護予防・ 生活支援サポート養成講座に平成27、28年度と参加しております。

平成28年度より介護予防・生活支援サービス事業の家事支援サービス (訪問型サービス A) を町と委託契約を結びました。

職業紹介事業については、公益財団法人いきいき埼玉の実施事務所として有料職業紹介を行うともに、一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)とあわせて就業機会の提供に努めるものとします。

7 普及啓発事業

地域社会に向けてセンター事業を広く宣伝することにより、就業等を通じて社会参加を希望する高齢者に対する入会の促進を図り、地域社会に理解と協力を求め、就業機会向上の一助とします。

また、ホームページ・シルバーだよりの充実及び「かみさとふれあいまつり」や「桜まつり」に参加しチラシ等を配布して、より多くの町民にセンターの事業内容を知ってもらうようにします。

8 研修・講習事業

会員がセンターの事業理念等を理解、賛同すること及び就業・社会奉仕活動等に必要な知識や技能を習得することで、質の高いサービスの提供を実現し、さらに新たな就業機会を確保するため研修・講習事業の充実に努めます。また、外部団体等が実施する研修会にも積極的に参加します。

9 安全対策事業

「事故に会わない、起こさない」をスローガンに掲げて、安全適正就業委員会による安全巡回パトロールや地元警察による交通安全講習会の開催、シルバー連合等による安全対策講習会等に積極的に参加して、事故の撲滅に取り組んで参ります。

10 調査研究事業

会員の就業率の向上、入会者数の増加、発注者に対するサービス内容改善・充実、 さらに新たな就業等の活動機会の開拓の方策を調査研究します。

<u>収支予算書</u>

平成 29年 4月 1日 から 平成 30年 3月 31日 まで

(単位:円)

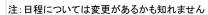
			(単位:円)
科 目	当 年 度	前 年 度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
受託事業収益	98, 050, 000	97, 550, 000	500, 000
受取配分金	85, 000, 000	85, 000, 000	0
受取材料費等	7, 000, 000	6, 500, 000	500, 000
受取事務費	6, 050, 000	6, 050, 000	0
派遣事務手数料収益	700, 000	700, 000	0
派遣事務手数料収益	700, 000	700, 000	0
有料職業紹介事務手数料収益	10, 000	10,000	0
有料職業紹介事務手数料収益	10, 000	10,000	0
介護予防·日常生活支援総合事業収益	720, 000	700, 000	20, 000
介護予防保険報酬収益	648, 000	630, 000	18, 000
介護予防利用者負担金収益	72, 000	70,000	2,000
受取会費	240, 000	240, 000	0
正会員受取会費	240, 000	240, 000	0
受取補助金等	10, 000, 000	10, 000, 000	0
受取町補助金	5, 000, 000	5, 000, 000	0
受取連合交付金	5, 000, 000	5, 000, 000	0
特定資産運用益	1,000	1,000	0
特定資産受取利息	1,000	1, 000	0
雑収益	12, 000	12,000	0
受取利息	2, 000	2,000	0
雑収益	10, 000	10,000	0
経常収益計	109, 733, 000	109, 213, 000	520, 000
(2)経常費用		,	,
事業費	107, 039, 000	106, 553, 000	486, 000
支払配分金	85, 576, 000	85, 560, 000	16, 000
支払材料費等	7, 000, 000	6, 500, 000	500, 000
給料手当	4, 396, 000	4, 396, 000	0
臨時雇賃金	4, 254, 000	3, 940, 000	314,000
法定福利費	740, 000	720, 000	20,000
福利厚生費	20,000	30, 000	△ 10,000
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	185, 000	180, 000	5,000
通信運搬費	400, 000	330, 000	70, 000
減価償却費	578, 000	577, 000	1,000
什器備品費	10, 000	10,000	0
消耗品費	100, 000	100, 000	0
修繕費	80, 000	120, 000	△ 40,000
印刷製本費	30, 000	30, 000	0
光熱水料費	300, 000	280, 000	20, 000
賃借料	1, 200, 000	1, 200, 000	0
保険料	700, 000	1, 200, 000	△ 500,000
諸謝金	200, 000	280, 000	△ 80, 000
租税公課	520, 000	500, 000	20, 000
委託費	700, 000	550, 000	150, 000
支払手数料	30, 000	30,000	0
維費	10, 000	10, 000	0

科目	当年度	前年度	増減
管理費	2, 694, 000	2, 660, 000	34, 000
役員報酬	700, 000	630, 000	70, 000
給料手当	364, 000	364, 000	0
臨時雇賃金	150, 000	150,000	0
法定福利費	80,000	80,000	0
福利厚生費	2,000	2,000	0
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	10,000	20,000	△ 10,000
通信運搬費	57,000	53,000	4,000
減価償却費	6,000	6,000	0
什器備品費	10,000	10,000	0
消耗品費	40,000	40,000	0
修繕費	10,000	10,000	0
印刷製本費	10,000	20,000	△ 10,000
光熱水料費	80,000	80,000	0
賃借料	300, 000	300,000	0
租税公課	10,000	10,000	0
支払負担金	280, 000	280, 000	0
委託費	550,000	570,000	△ 20,000
支払利息	15, 000	15,000	0
雑費	10,000	10,000	0
経常費用計	109, 733, 000	109, 213, 000	520, 000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	21, 678, 366	21, 804, 496	△ 126, 130
一般正味財産期末残高	21, 678, 366	21, 804, 496	△ 126, 130
Ⅱ 指定正味財産増減の部		, ,	•
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	21, 678, 366	21, 804, 496	△ 126, 130
	, , , , , , ,	, , ,	,



平成二十九年度 親睦会総会開催 平成二十九年度 親睦会総会開催 中し上げます。さて本年度の事業計画で すが(下記表参照)いつものグランドゴ すが(下記表参照)いつものグランドゴ 中し上げます。さて本年度の事業計画で 申し上げます。さて本年度の事業計画で していますので大勢の参加をお待ちして していますので大勢の参加をお待ちして していますので大勢の参加をお待ちして していますので大勢の参加をお待ちして いフや忘年会に加えて、お寺で座禅体験、 していますので大勢の参加をお待ちして

日程	事業名	場所	内容	
7月17日(祝)	第七回理事長杯 グランドゴルフ大会	体育館北ゲート ホール場	初心者もベテランも楽 しめます	
9月16日(土)	スッポンポンでいいん会	冬桜の湯	風呂と食事とカラオケと	
10月28日(土)	安心と安らぎを貰う 委員会	福昌寺	座禅で身も心も スッキリ	
12月2日(土)	第七回理事長杯 グランドゴルフ大会	体育館北ゲート ボール場	初心者もベテランも楽 しめます	
	忘年会	小菊	おいしい酒と食事と カラオケと	





キャッチフレーズ		
きょういく ➡	今日行く所がある	
きょうよう ➡	今日用事がある	
あいきょう ➡	今日会う人がいる	

出来ました。*

*



<事務局からのお知らせ>

会員の皆様へ

年に一度は必ず本人の健康状態のわかるもの(健康診断書等)を提出して下さい。 よろしくお願いします。

配分金の支払日

行事予定(7月~12月)

7月分	8月10日(木)	7月	安全パトロール実施
8月分	9月11日(月)	8月	14日(月)15日(火)事務所夏休み
9月分	10月10日(火)	9月	理事会
10月分	11月10日(金)	10月	理事会
11月分	12月11日(月)	11月	かみさとふれあい祭り参加
12月分	1月12日(金)	12月2	9日(金)~1月5日(金)年末年始休み

熱中症にご用心

熱中症とは?

室温や気温の高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体がだるい、ひどい時には痙攣や意識の異常など、様々な症状を起こす病気です。

家の中でじっとしていても室温や体温が高いために,熱中症になる場合がありますので注意が必要です。

予防のポイント

- ・のどが渇いたと感じたら必ず水分補給
- ・のどが渇かなくてもこまめに水分補給
- ・エアコンや扇風機を上手に利用して、室温に注意
- ・外に出る時は涼しい服装で、日よけ対策を必ず
- ・無理をせず、適度に休息を取る

表紙の写真について

圏央道の全面開通により潮来へのアクセスが便利になったので、あやめ娘に会ってきました。 $T \cdot M$



発行 公益社団法人上里町シルバー人材センター 上里町大字神保原町1401 Tel・Fax 0495-33-4231